

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月27日

計画の名称	高岡市の歴史と伝統を活かした住みよいまちづくり												
計画の期間	平成29年度～令和02年度(4年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	高岡市												
計画の目標	市民が誇りと愛着をもって住み続ける、高岡の歴史と伝統を活かしたまちをつくるとともに、歴史や伝統に触れることを目的として多くの人が高岡を訪れることによる交流人口の拡大を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	684	A	684	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H30末	H32末
1	高岡を訪れる観光客の増加 街なみ環境整備事業地区への観光客入込み数 事業地区への観光客入込み実績に、市総合計画で設定した市全体の増加率(目標)を乗じて算定。	2189千人/年	千人/年	2523千人/年
2	歴史・文化施設を訪れる人の増加 街なみ環境整備事業地区内の歴史・文化施設入込み者数 市総合計画における目標値を採用。	1175千人/年	千人/年	1204千人/年
3	居住人口の減少率の改善 街なみ環境整備事業地区内の居住人口の減少率 市総合計画基本構想における減少率(目標)を乗じて算定。	8%	%	3%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高岡市	直接	市	—	—	旧高岡町地区街なみ環境整備事業	案内板の整備、生活環境施設整備	高岡市	■	■	■	■		516		—	
	A16-002	住宅	一般	高岡市	間接	民間	—	—	旧高岡町地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助成、修景整備助成	高岡市	■	■	■	■		29		—	
	A16-003	住宅	一般	高岡市	直接	市	—	—	伏木・吉久地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備、電柱・街灯美化、マンホール蓋整備、案内板の整備	高岡市	■	■	■	■		119		—	
	A16-004	住宅	一般	高岡市	間接	民間	—	—	伏木・吉久地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助成	高岡市	■	■	■	■		20		—	
												小計						684		
												合計						684		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高岡市景観みどり課において実施

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

高岡市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・新型コロナウイルス感染拡大前までは、区域内の観光客数が増えている。
- ・伏木・吉久地区において事業実施した周辺の歴史文化施設の入込数が増加している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・今後の事業活用においては、本計画での実績を踏まえ、的確な目標設定を行う。
- ・良好な住環境の整備には、公共施設や建築物等、複数の要素があることから、官民連携して事業を進めていくことを検討する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	2523千人／年	最終年度において新型コロナウイルスの影響により、観光客数が減少した。
	最終実績値	1328千人／年	
2	最終目標値	1204千人／年	最終年度において新型コロナウイルスの影響により観光客数が減少し、また施設の休館も行っていた。
	最終実績値	1150千人／年	
3	最終目標値	3%	居住人口の減少率は自然増減や社会増減等様々な要因があるため、街なみ環境整備事業地区全体での減少率は当初現況値と変わらなかった。しかし、生活環境施設整備を実施した地区での減少率は4%に留まっている。
	最終実績値	8%	